

- 萩原理事長 司祭叙階五〇周年
- 聖母園夏祭りのお知らせ
- “ゆめちょ”はじめました！
- 特別養護老人ホーム聖母園
 - ・元気な聖母園
 - ・聖母園ショートステイ
 - ・水害想定避難訓練
- デイサービスだより
 - ・旅路の荘
 - ・カトレア荘
 - ・いぶきの家
- 養護老人ホーム聖母園
 - ・園児との交流を通して
 - ・季節を感じながら
- 平成25年度希望の丘サービス改善委員会報告
- 聖母園グループホーム
 - ・地域との関わり
- 海の星保育園通信
- 聖母園俳句会
 - ・橋本幸子 選
- 活動あれこれ
 - ・歌の会



第96号

発 行 希 望 の 丘
 発行年月日 2014年7月15日
 印 刷 聖 母 の 騎 士 社



聖母園ふれあい農園のグミの実

萩原理事長 司祭叙階 五〇周年



社会福祉法人希望の丘聖母園理事長である、萩原栄三郎神父様が司祭叙階50年、金祝を迎えられました。聖母園ではこの喜びを一緒にお祝いしたいということと、5月20日に海の星保育園・特別養護老人ホーム・グループホーム・旅路の荘・養護老人ホームから、各事業所ささやかですがお祝い会をさせていただ

きました。

さて、お祝い会の様子ですが、まず萩原神父様司式の下、感謝の御ミサがありました。利用者・職員、皆心を一つに今までの感謝とこれからのご健康を祈りながら心静かに祈りをしました。

御ミサ終了後は、各事業所より萩原神父様の金祝のお祝いとして、心を込めた贈り物です。海の星保育園の園児からは歌のプレゼント「小さな世界」を元気に歌い、これには萩原神父様も目を細め聞き入っておられました。

次に利用者を代表して養護老人ホームの田中葉子様がお祝いの言葉を述べられました。



「日頃、私たちが聖母園で安心して心穏やかに生活できるのも萩原神父様のお祈りと御働きのおかげと感謝いたします。」

そして、養護・特養・グループホームからそれぞれの手作りのプレゼントが贈られ、お祝い会を終えることができました。

以前、萩原神父様より、「私の発する言葉の一つが相手の心

を温め、笑顔を引き出す言葉であればその奉仕は素晴らしいものです。しかし、私の発する言葉が相手を傷つけ、悲しませる結果になったとすれば、自分では相手の事を思っても、それは実りのない働きになってしまいます。」との言葉を受け、これからも私たち職員の言動が相手にとって心温まる奉仕になる事を目指して利用者様、子供達の為、頑張りたいと思いません。(萩原麻理子)





今年の夏祭りは第30回を迎えます。

「地域の皆様と共に」を合言葉に『あつい絆でつながれ！広がれ！地域の和・輪』をキャッチコピーとして、一人ひとりの出会いとふれあいを大切にし、ご家族や地域の皆様とのさらなる交流を深めていきたいと考え



お待ちしていきま〜す！

ております。

海の星保育園児による踊りや、カラオケ大会を予定しております。また、今年も北野伝統芸能 和太鼓『轍』の皆様以太鼓演奏を行って頂く予定です。迫力ある太鼓の音をお楽しみください。

模擬店は、焼きそばやカレーライス、焼き鳥、フランクフルト、揚げタコ、かき氷、ジュースを準備してあります。

短い時間ではありますが、御家族ご友人などもお誘い合わせの上、どうぞお気軽にお越しいただけますよう、ご案内申し上げます。(吉岡)

日時：平成26年7月27日
時間：午後5時30分から
場所：養護老人ホーム聖母園 中庭
(雨天中止)

「ゆめちよ」はじめました

「夢の貯金箱」皆様はこの貯金箱をご存知でしょうか？とても良い響きのネーミングだと思いませんか？

これは日本財団様事業の一環で、夢の貯金箱のロゴの入った自動販売機で飲料水を買うと1本につき10円が福祉活動費として寄付される事業です。集まった善意は国や自治体では解決できない問題や、制度のはざままで苦しんでいる方々の為に使われます。具体的には「ホームホスピスの推進」「犯罪被害者支援」



自動販売機の展開イメージ

「アジア小学校建設プロジェクト」「小児ホスピスの推進」などです。

この度、当法人も日本財団様の「ゆめちよパートナー」となり、夢の自動販売機を設置する運びとなりました。法人の敷地内にありますので、是非ご利用下さい。飲料メーカーは俳優の竹野内豊さんやローラさんがCMを行っているJTです。「飲んで幸せ社会貢献」「大切な命」「夢」をテーマにしたこの事業で多くの方が幸せになることを願っています。



特別養護老人ホーム 聖母園

“元気な聖母園”



5月7日

ポピーの花見(キリンビール工場)



園内 BBQ 5月15日



美味しいスイーツを
食べてきました。



5月26日

スイーツの会(道の駅久留米)

本場のちゃんぽんを
食べに行ってきました。



5月28日

バスハイク(川登サービスエリア)

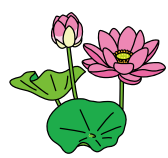


6月14日

トマト収穫



4月から大事に育て
てきたトマトが真っ赤
に実りました!!



毎月の華道クラブ
では利用者様の真
剣な表情を見るこ
とができます。

華道クラブ 6月10日



聖母園 ショートステイ



ショートステイでの生活の様子です



ショートステイは、正式には短期入所生活介護といわれています。施設に短期間入所し、日常生活のお世話や機能訓練などを受けられることのできる介護サービスです。聖母園ショートステイは、特別養護老人ホームに併設されており、利用定員は12名です。聖母園ショートステイは、全て個室となっています。プライベートも確保され、自宅と同じように利用者様がゆっくりのんびりできる空間となっています。また、リビングでは、レクリエーションや学び活動、体操など、自分に合った運動や活動

にも参加して頂くことで楽しさを持った生活を送ることが出来ます。他の利用者様とも交流を図ることで顔見知りの方ができたり、昔からの友達に久しぶりに出会うことができたりと喜ばれる方もおられます。介護者の介護疲れを予防・解消するために定期的ショートステイを利用する方、介護者が冠婚葬祭や旅行など泊りがけで出かける、一人で自宅での生活が難しい方、介護者が病気になる、一時的に世話をできなくなった方などショートステイを利用する目的は様々です。困ったときは聖母園ショートステイ!! 皆さんのお役に立てるよう、今後とも頑張ります!! (内田)

水害想定避難訓練



大刀洗町ハザードマップで、聖母園の位置を確認しました。

平成24年7月に起きた九州北部豪雨から早くも2年という月日が経ちました。近年の異常気象により、いつ・どのような災害が起こるかも分かりません。特養聖母園では、もしもの時を想定して6月19日からユニットごとに分かれて水害想定避難訓練を実施しました。

普段、利用者様は1階の生活空間にて日々の生活を送っています。ですが、水害が起きたら2階へ避難することになります。寝たきりの方、車椅子の方、自分で歩くことのできる方など介護度は様々です。安全に避難できるように職

100歳を迎えた小林満様(最後方)も自分で階段の昇り降りをされました。



車椅子の方も、職員2人で安全に2階まで誘導しました。

員も手順を一つ一つ確認しながら行いました。

利用者の皆様も真剣に取り組み、普段使わない階段を自分の足で一歩一歩しっかりとした足取りで昇っていました。特に驚いた事は、今年、100歳を迎えられた小林満様も自ら頭にねじり鉢巻きをされ、自分の足で階段を昇り降りされた事です。

今後も利用者様が安心して生活して頂けるよう有事に備えた訓練を充実させて取り組んでいきたいと思えます。

(内田)

・デイサービスだより

旅路の荘

旅路の荘では、100歳を迎えられますとお祝い会を催しています。今までに7名の方のお祝い会を催してきましたが、平成26年5月には新たに二人の方が100歳を迎えられました。

お祝い会では、まず、紅白の餅をついて、皆でお祝いさせていただきますました。もちろん、ご本人にも餅をついていただいております。力強い杵さばきに、何度も歓声が上がりました。

海の星保育園の子供たちからは、唄のプレゼントがありました。園児たちの唄に、元氣と若



長生きするコツはよく笑うことです。

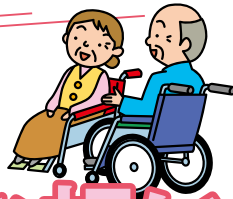


長生きするコツはよく食べてよく寝ることです。

さをたくさんもらうことができました。駆けつけてくれたのは、すみれ組とゆり組の園児さん合わせて21名。全員合わせても100歳には届きません。100年の人生の重みを感じる瞬間でもありました。

お祝い会に参加されていた利用者の方も、「こんなに盛大にお祝いしていただけるなら、自分も100歳目指して頑張らんといいかね。」といった嬉しい声も聞くことが出来ました。100歳を迎えられたお二方の長生きのコツを実践し、旅路の荘に今後もお越しください。

(高原)



またまた、100歳のお祝い!

100歳ばんざーい!



カトレア荘

梅雨入り宣言から早や一ヶ月過ぎましたがいかがお過ごしでしょうか？

この時期に注意が必要なのは熱中症ですね。熱中症は五月頃から注意が呼びかけられています。

熱中症の予防には、「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です！熱中症患者のおよそ半数は高齢者です。高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が



が低下しており、暑さに対する体の調整機能も低下しています。のどの渇きを感じていなくてもこまめに水分補給をしたり、暑さを感じなくても扇風機やエアコンを使って温度調整をするように心がけましょう。気温が高い日や湿度の高い日には、決して無理な節電はせず、適度に扇風機やエアコンを使用するようにしましょう。

憂鬱になる季節だからこそカトレア荘では小郡のカエル寺で有名な「如意輪寺」に紫陽花の花見に行きました。利用者様と石で作られたカエルの置物を見たり触れたりして楽しんできました。

今後も、利用者の皆様が楽しんで頂けるような様々な活動や催し物を準備します。暑さに負けず、自分の体調の変化に気をつけ、暑さの抵抗力に合わせて、万全の予防を心がけましょう。
(堀内)

いぶきの家

今回は体操や活動の紹介をいたします。皆様「体を弱らせたらいかん！」と意識は高く積極的に活動されています。タオル体操は、その名の通りタオルを使って行う体操ですが、一言で言えば日常生活動作を中心とした運動になります。皆様の身体状況も様々ですが、今できる事を継続していくことが一番の筋力低下防止になっています。利用者様にお話を伺うと「いぶきの家で習った体操を家でもやりよるよ」と職員としては嬉しいお言葉を頂いています。



せ〜の、おもしろー！



次に、手芸を中心とした作品作りです。「手先を使うことは認知症予防になる」と意気込み十分。石鹸を使ったソーープラワーを作成しました。製作時間は約1時間です。作品を作り始めると、いつにも増して真剣な表情で取り組んでいます。元々手先が器用な方が多く、職員が作った試作品より立派な作品が次々完成しています。作り終えた方は自分の作品を眺めながら満足気な表情をされています。今後も利用者様の健康維持を第一に考えお手伝いさせて頂きます。
(中島)

養護老人ホーム聖母園

園児との交流を通して

養護老人ホームでは、今年度より利用者と海の星保育園の園児による新たな活動に取り組んでいます。ふれあい農園の畑で野菜の種まきや苗植えをし、収穫、さらに園児と共に食すというものです。

今までも単発的な交流は行ってきましたが、野菜を育てるといふ継続的な活動での交流を持つことで利用者により刺激となり、生きがいや日常生活での活力につながればとの事で始めました。

園児にとっても共に活動しながら、お年寄りの皆さんから昔話や昔遊びを教えてもらったりして、豊かな関係性を持って成長することができると思っています。夏野菜の面倒をみながら、自然に触れて、園児たちとの交流を深めています。
(前原)

種まきと苗植え

ぼちや、スイカ、キュウリ
根の種をまきました



5月7日より共同の野菜作り開始
「よろしくお願ひします」

季節を感じながら

4月のおだやかな日、美しい花を見ながらの園外散歩はモニカ会の方々の優しいお人柄に触れる時でもありました。

やがて季節は移り、風薫る5月、味坂のポピー見学では、畑一面にポピーの花が咲き乱れ、風に揺られる様に、皆さん感動でした。カメラマンとしての腕がなります。

6月、園内では、活動として野菜の皮むきやクッキー作りを利用者と一緒に行い、楽しいひと時を過ごしています。



天気が良くて
気持ちいい

味坂にて
(ポピーの花見)



モニカ会の皆さんと園外散歩





おばあちゃん、見て、とれた!



収穫です!

大きく、なりますように



あら、お見事

今回はミニトマト、か
の苗を植え、はつか大



このキュウリが
おいしそう



まかせて!



6月13日にきゅうり、はつか大根、
ミニトマトの収穫となりました



きれいに
むけてるでしょ



野菜の皮むき、
クッキー作り



平成25年度
希望の丘

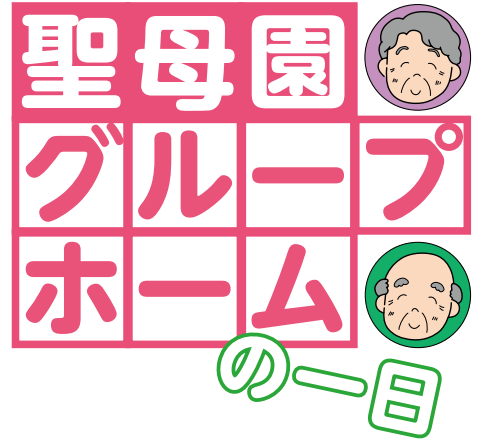
サービス改善委員会報告

事業所	件数	苦情等の内容	対応と結果
特別養護 老人ホーム 聖母園	2	入居者家族様が居室にて面会を行っていた。食事時間には声をかけられると思っていたが、声掛けが無かった。リビングに行くと他入居者は食事も終わる頃だった。リビングにて食事介助を行うため側にいると、何かする度に「〇様、これはいかがですか・・・」と声をかけられた。食事時間に遅れているのであれば、声をかけてほしい。急かされているようで気分を害した。	面会中はなるべく家族との団らんを大切にしたいと思い、食事時間になったが、遠慮していた。また食事介助は本人の意識を集中させたいと思い、声掛けを細目にしたつもりだったが、かえってそれが耳障りだったと反省し、今後の介助時に活かしたい。また面会時に食事時間と重なったときは、家族に食事介助の方法を説明し、居室にて食事をするよう声掛けをするなど細やかな配慮をしていく事とした。
		入居者家族様より、面会の際に申し出られる。起床介助の際、冷たい水で洗面を促され、それが数回続いた。整容（髪をとかす等）が十分できていない。また本人のおやつが古いものをそのままにしていたり、もっと心のこもったケアを生活全般にしてほしい。	すぐに本人、家族に謝罪をし、職員に確認する。加湿器に水を補充するために、洗面台から水をくみ、その後蛇口をお湯の位置に設定し忘れそのままになっていた。また洗面の際も声掛けをしないまま、居室を出て洗面台の蛇口の温度確認をしていなかった。また朝の起床介助は職員数も少なく十分な声かけや、時間を取らずに本人に任せっぱなしであった。加湿器の水は居室の洗面台から組まない。必ず蛇口の水は手を当てて温度の確認をする。退出時は声掛けをし本人の様子を確認する。この事を再度取決めし、もう一度心を込めたケアについて全職員話し合いを行う。
聖母園 ショート ステイ	1	利用者家族様より、介護の方法が乱暴で本人が怖いと言っている。何とかしてほしい。と申し出がある。	家族にその状況について話を聞く。声掛けや介護の方法等、職員の癖がある様子だった。担当する職員は固定されていない事、介護の方法が職員自身のやりやすい方法で行っていたりしたことを謝罪する。介護については介護技術の習熟にばらつきがあっても、方法は統一する事、言葉使いの悪さを改め、利用者へ声掛けしながら対応させて頂くことを説明し、納得していただいた。
養護 老人ホーム 聖母園	2	大刀洗町役場管理係より、「今地区下水ポンプにタオル4枚が引っかかり、ポンプ作動ができなくなっていた。施設内の水洗トイレ、汚物流し等から流れたタオルと思われる。利用者、職員への注意を呼び掛けてほしい。」との指導を受けた。	排泄介助後の処理で、清拭用のタオル洗浄の際に、汚物とともに誤って流してしまったタオルということが判明。職員には周知徹底を図り、排泄介助用清拭タオルの洗浄方法の手順を見直した。利用者に対しては、当月の定例会において水洗トイレ、汚物流しの取扱いについて説明を行った。
		要介護高齢者が外部サービスを利用している事業所より、利用者に貸した衣類が返却されていない、との連絡を受けた。	サービス利用中に衣類を汚し、替えの物がなかった為に衣類を借りて帰園したことを把握しておらず、利用者本人も短期記憶障害にて借りたことを忘れていた。サービス事業所、施設、利用者との連絡がかみ合っていない為に、再度、連絡方法の確認を行った。また、本人とともに所持品の確認を行うこととした。衣類は返却した。
聖母園 グループ ホーム	1	7月8日(月)グループホーム北側の用水路の草刈り中、今区の方より、『川に草を落とさんと』『南側の保育園前にたまとる』と、注意を受ける。すぐに、南側の引っかかった草を撤去する。	7月8日は、職員一人で草刈りを行った為、注意を受けたが、以降、職員二人での草刈りを再度徹底。川に落ち込んだ草をすぐに対応できる体制で草刈りを実施している。



聖母園グループホームの理念のひとつに「地域の中の一員として」という言葉があり

『地域との関わり』



4月26日 子供チャレンジ教室

ます。今回は地域の小学生との関わりについてご紹介させて頂きます。
 4月に大刀洗こどもチャレンジ教室にて、元気いっぱい小学生10名がグループホームへ来園されました。施設見学後に、職員による劇、利用者様とのかん作りを行いました。
 劇の後、小学生の新鮮な意見や明るい声と共に笑顔溢れる時間となりました。
 6月には、福祉課、包括支援センター、他事業所と協力し、認知症サポーター養成講座を行いました。今年度は小学校、中



菊池小学校での劇の様子

学校、老人クラブなどを対象に、より多くの方に『認知症』についての理解を深め、身近な問題として取り組んで頂けるよう、劇を通じ小学生にも分かりやすい内容にしました。今後ともさまざまな場で、認知症サポ-



美味しくなあれ!



ター講座を開催させて頂く予定です。みんなの力で、住みやすい大刀洗町にしましょう。
 平成25年度福岡県グループホーム協議会実践報告会にて、聖母園グループホームでの取り組みを報告し、審査員特別賞を受賞することが出来ました。受賞は2年連続のこととなり感謝致しております。
 今後も、聖母園グループホームでは、地域との関わりを大事に、いつでも気軽に立ち寄れる施設として、また、出来るだけ地域に出向き、認知症の最新情報を発信出来るよう努めます。
 (伊高)



うみのほしろうしん



題字：井上武瑠くん(5歳)



「和食」とは。。。。

昨年12月、「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことが話題を呼びました。そこで今年度、海の星保育園では子どもたちが和食に触れる機会を持てるような取り組みをしています。

6月には聖母園の主任調理師・中願寺さんをお招きして、一緒にうどん作りを行いました。「だし」の美味しそうな香りや、かまぼこの飾り切りの凄さに驚き、また、自分たちで作ることによりおいしく頂くことができました。自分たちが生活する「日本」についてももっともっと関心を深めていけるよう、今後も取り組んでいきたいと思ひます。

前日からうどん生地の仕込み☆
おいしいうどんにな～れ!



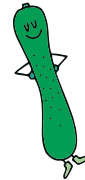
1, 2 ♪ 1, 2 ♪
よ～く踏んで
こしを出すよ!!



少しずつみんなの
知っているうどんに
近づいていく様子に
興味津々!!
みんなでおいしく
いただきました♪



食育活動

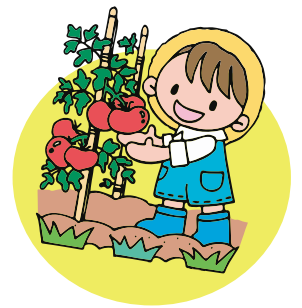


早く、大きくな〜れ!



今年も「緑のカーテン」作りとして、ゴーヤとヘチマの苗植えを行いました。水やりを進んで行ったり、毎日の観察を通してみんなで大切に育てています。

また今年初めての取り組みとして、養護老人ホームの利用者の皆さまと、園芸交流として一緒に野菜を育てています。先日二十日大根、そして、まだ少しですが『きゅうり』と『ミニトマト』の収穫を行うことができました。



看板も自分たちで作ったよ★

ふれあい農園で玉ねぎの収穫をしたり、聖母園職員さんの畑でじゃがいも掘りをさせて頂ける機会があったりと、様々な野菜を身近に感じることができています。



この青いトマトが赤くなるなんて不思議だなあ…



玉ねぎとってもおいしそう♪



じゃがいも掘り楽しかった〜!!



聖母園俳句会



橋本幸子 (選)

選者近詠

梅雨の月

梅雨に入る遺品の整理始めねば
偲びても偲びきれざる梅雨の月
更衣模様替にも偲ばるる
借景は由布でありけり沢あやめ
魂吸はれゆきささう由布の沢あやめ

(平成二十六年四月聖母園俳句会)

【特選】

- 野に山に日毎若葉の増えてをり
どの色が好きかと問ふやチューリップ
新しき制服映ゆる入学式
美しくみんなをつなぐ八重桜
春ゆくや孫の歩みに歩を合はせ

- 萩原 逸子
萩原美代子
藤野 明美
前原 健輔
鳥羽 清治

【本選】

- 訃報きくただ木蓮の深き白
しゃぼん玉ゆらりゆらりと風まかせ
入園の親の笑顔のまぶしかり
潮干狩づくしの食卓舌づつみ

- 福田 博志
米替 直樹
萩原アサエ
片山 スウ

- 里山も街も歩みは花見かな
転んでも泣かず立つ児や風光る
春の雲湖面に映しゆれてをり
あれこれと習ひたるより菊根分
広がりに椎の若葉は羽化風情
風集め思ひのままに桜舞ふ
青麦の風吹くまみにすすくと
ジャスマミンの香に包まれて出勤路
麦青き筑後平野に背を伸ばす
たはむれて園児の遊ぶ花一樹
水温む飛沫とびるし水車
遠足の列くねくねと長々と
山桜指折るかぞへ開花待つ
我れ先に知らせたくなる初桜
夕桜雪洞淡く灯りゐし
八重桜パーティ開く聖母園
風誘ひてはハラハラと散る桜
八重桜「きれいだねー」と皆ほめる
手を引いてそぞろ歩きの花巡り
中庭の花の一樹に子等遊ぶ
食卓の話題となりて山葵漬
殉教を偲ぶ心に復活祭
菜の花に子の名の由来思ひけり
今もなほ昔をしのぶ八重桜
花の雨やさしく香る八重桜
空晴れて咲きはじめる八重桜
葉桜の雨にうたれてさみしげに

- 石橋 昭二
福田 博志
萩原アサエ
福田 博志
石橋 昭二
萩原アサエ
萩原 逸子
片山 スウ
萩原美代子
鳥羽 清治
池田 精蔵
萩原美代子
齊藤賀壽子
萩原 逸子
池田 精蔵
田中 葉子
今藤 敦子
鬼塚 武
萩原 逸子
鳥羽 清治
米替 直樹
片山 スウ
藤野 明美
藤川 涉
田中 葉子
今藤 敦子
前原 健輔

(五月聖母園俳句会)

【特選】

- 園児等と楽しく植うるナストマト
草笛を吹いて童の心持つ
遠き日の母の手づくり粽かな
母の日に遠き思ひ出巡りけり
幟立て鉢巻しめて這ふ子かな
母はなくともカーネーション買ひ求め
金祝のミサ蔽そかに聖五月
母の日や墓参叶はず折り込め
園庭も潤ひに満ち若葉雨
やはり野にありて薊の花の色

【本選】

- 咲き誇るバラに圧倒されてゐし
麦秋の窓開け放つ会議室
こいのぼり心わくわく子ども達
おなじみの服でありしか更衣
二人目の孫も男子や鯉幟
更衣してさっそうと寮母かな
早朝の筍ゆでの火を起こす
葉桜の下に広がる花あま多
雨風に倒れしままの麦熟るる
初夏の風受けてリハビリままならず
見慣れたる民家に今年初幟
香に引かれ気づけばいつかバラ園に
師の句碑に心を寄せる萩若葉
窓よりの一望千里麦の秋
おもてなしより丁寧に新茶かな
麦笛に幼き頃を思ひ出す
麦秋に映へしレンガの天主堂
バス降りて新緑の香に深呼吸

- 鬼塚 武
片山 スウ
石橋 昭二
前原 健輔
池田 精蔵
萩原美代子
鳥羽 清治
萩原アサエ
福田 博志
片山 スウ
鳥羽 清治
前原 健輔
萩原美代子
鳥羽 清治
藤野 明美
齊藤賀壽子
萩原 逸子
石橋 昭二
萩原美代子
前原 健輔
片山 スウ
鳥羽 清治
萩原 逸子
萩原アサエ
片山 スウ

サ克蘭ボ色づきたるより鳥の餌に
 金祝の神父祝ひて聖五月
 聖母園夏の農園いきいきと
 麦の秋師は五十周年迎へらる
 風そよぎ水面に浮かぶかきつばた
 七重八重雨に色増す濃山吹
 中庭に祥和の光紅つゝじ
 ポピー見の屋外で食べる飯も又
 母の日や子等の手伝ひうれしかり

萩原アサエ 鳥羽 清治
 田中 葉子
 萩原 逸子
 池田 精蔵
 福田 博志
 藤川 渉
 鬼塚 武
 藤野 明美

〔六月聖母園俳句会〕

〔特選〕

- ◎手ほどきは電話に受けて辣蕪漬
- ◎花みかん夕日の醸す香り濃く
- ◎丸き背を折りて新じゃが握る嫗
- ◎麦殻焼の匂ひはなれぬ帰路につく
- ◎一つ二つ気づけば一面蛍飛ぶ
- ◎ぬばたまの宵や蛍を招きあい
- ◎葉桜の陰を拾ひて散策す
- ◎語りべの踏絵はかなし梅雨寒し

萩原美代子 池田 精蔵
 福田 博志 萩原 逸子
 前原 健輔 石橋 昭二
 萩原アサエ 片山 スウ

〔本選〕

網戸より入る風についまどろみて
 ロザリオは聖母に捧ぐバラの花
 天草の一夜の鳥賊火なつかしむ
 田苗箱水撒く光にとぶ蛙
 里山の清き流れや蛍舞ふ
 童心に返る笑顔や蛍狩
 人寄せてヨハネパウロ二世てふさうび
 愛犬は大あじさるの下にをり
 蛍火の夜の光を遠慮して
 手を伸ばし届けとばかりホタル呼ぶ

藤野 明美 藤野 明美
 田中 葉子 片山 スウ
 藤野 明美 藤野 明美
 萩原 逸子 萩原 逸子
 池田 精蔵 池田 精蔵
 石橋 昭二 石橋 昭二
 前原 健輔 前原 健輔



2014年5月28日 俳句会吟行
 (久留米石橋文化センター 紫陽花・菖蒲見学)

バラの花聖母マリアにかざる花
 車窓より眺めいちめん麦の秋
 万緑や街の喧噪のみ込みて
 雨を得て紫陽花の濃くなりしこと
 バラの花赤白黄色咲き乱れ
 よちよちの笑顔満点夏帽子
 穂を揃へ風にゆられて麦熟るる
 待ち合ひの椅子に日の射す梅雨晴間
 鈍色の海動きなく梅雨曇
 麦殻焼の煙たなびくバスの旅
 黄沙きて遠くの山もかすんでる
 麦殻焼の終はるや里の景色変へ
 初なりの李両手に余るほど
 法王名のバラ咲く径をもう一度
 ふるさとの風情なつかし夏の旅
 外食の思ひ叶ってスシ定食
 夜もすがら蛍を見たし雨あがり

田中 葉子 田中 葉子
 鬼塚 武 萩原 逸子
 萩原 逸子 萩原 逸子
 萩原美代子 萩原美代子
 鬼塚 武 片山 スウ
 齊藤賀壽子 齊藤賀壽子
 萩原美代子 萩原美代子
 萩原 逸子 萩原 逸子
 萩原アサエ 萩原アサエ
 今藤 敦子 今藤 敦子
 萩原アサエ 萩原アサエ
 萩原美代子 萩原美代子
 片山 スウ 片山 スウ
 井上 重市 井上 重市
 藤川 渉 藤川 渉

善意のご寄附・ご厚意、
 心より感謝致します。
 (平成26年4月1日〜26年6月30日)

「ボランティア・交流会」

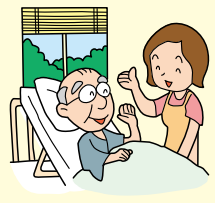
- ・モニカ会様
- ・ビューティーケア ほほえみ様
- ・ゆりの会様
- ・平田 孝康様 (絵画クラブ) 様
- ・橋本 幸子様 (俳句会) 様
- ・大塚 京子様 (歌の会代表) 様
- ・幸せの会様

「御寄贈・ご招待」

- ・萩原 義信様
- ・中村 順治様
- ・藤野 悟様
- ・橋本 幸子様
- ・松岡 吉寛様
- ・橋本 哲男様
- ・平田 昭良様
- ・重富 忠能様
- ・島添 福美様
- ・白石 和雄様
- ・ドイツ証券株式会社様
- ・武田 文夫様
- ・金ヶ江 久康様
- ・藤井 重利様
- ・秋山 万輝夫様
- ・平田 寿美代様
- ・江崎 茂文様
- ・松林 一智様
- ・内田 眞理子様
- ・平塚 謙一様
- ・田代 智浩様

「御寄付」

- ・渡辺 久子様
- ・久保山 久子様
- ・鐘江 清子様
- ・古賀 弘毅様
- ・松熊 茂實様
- ・平城 由紀子様
- ・島添 福美様



活動あれこれ

養護老人ホーム

歌の会



「瀬戸は日暮れて、夕波小波」
「いつもの美しい歌声が響きます。」

私達「歌の会」の十八番「瀬戸の花嫁」です。指導して下さいな先生（大塚京子様）のお好きな曲がいつのまにかテーマソングの様になりみなさん大好きで毎回気持よく歌っています。平成23年9月に始まった「歌の会」も早いもので3年目に入ります。



月に一度第三金曜日に開催して頂いています



左から、新谷千鶴子様、大塚京子様、太田智恵子様です。

ました。月に一度の会ですので四季折々の童謡・唱歌を中心に懐かしい思い出の曲を歌っています。

毎回とても賑やかで歌の途中で昔話に花が咲き、歌はちよっと一休み……になったり、時には聞いたことのない曲のリクエストをいただいて慌てることもあったりと、なかなか刺激的です。（笑）

これからもずっと楽しく続けていきたいと思っています。

どうぞ皆様、いつまでもお元気で笑顔を忘れずに明るく歌ってまいりましょう。

（新谷千鶴子様）

行事予定

7月 そうめん流し夏まつり

8月 お盆 ぶどう狩り

9月 開園記念日 敬老の日 運動会



※当機関誌「扉」に掲載している記事、写真は、本人またはご家族の了承を得ております。

※皆様の御意見・御感想をお待ちしております。どこへもお寄せ下さい。

※当法人は、規定に基づき情報開示を行っております。

連絡先

〒 8301223 福岡県三井郡大刀洗町 491番地
TEL 0942(77)0085
FAX 0942(77)2983
ホームページ
http://www2s.biglobe.ne.jp/~seiboer/
電子メールアドレス
kiboonooka@kyi.biglobe.ne.jp

編集後記

今年の7月2日は半夏生（夏至から11日目）でした。植物の半夏生もこの頃に花をつけるのでこの名前があるそうです。半夏生は、花は咲いても目立たないので、花の周りの葉の表が化粧したように白く色を変えて、虫を誘うのだそうです。

ところで同じ7月2日の新聞各紙は一斉に、戦後日本の大きな転換を報じていました。「9条解釈を変更 戦後安保の大転換」毎日新聞「平和主義覆す解釈改憲 海外で武力行使容認」朝日新聞「集团的自衛権限定容認 安保政策を転換」読売新聞。憲法改正をせず解釈の変更によって大転換を図る安倍総理の手法に不安を抱いています。現在の世界の情勢、アジアの情勢を危惧しています。自立して平和を守ることの困難さに苦悩します。先日、園児とデイサービスで交流会をした時の百歳の方のお話です。「30歳まではずっと戦争ばかり、そのあとは敗戦の貧しさから、生きるため、生活するために必死に働いていつのまにかこの歳になりました。」戦争は絶対に繰り返してはならない、その決意を改めて教えられました。花（憲法）は変わらないのに、周りの色（解釈）によって魅せられ誘われる虫たち（国民、半夏生（日本））が栄えるか滅びるか虫にかかっています。「半夏生われに先立つ人多し」角直指

（鳥羽）